



様式第6号(第8条関係)

平成29年8月17日

一関市議会議長 千葉 大作 様

議員氏名 及川忠之

政務活動費収支報告書

平成29年度の政務活動費に係る収入及び支出について、一関市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、下記のとおり提出いたします。

記

- 1 収入
政務活動費 105,000 円
- 2 支出 41,634 円

項目	金額	主たる支出の内容
調査研究費	21,980 円	
研修費		
広報費		
公聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	19,654 円	書籍等
人件費		
事務費		
合計	41,634 円	

- 3 残金 63,366 円

以上

支出伝票

項目	調査研究費	支出内容	旅費
金額	21,980 円	摘 要	
<p>(科目領収書貼付)</p> <p>平成 29 年 7 月 6 日(1 日)</p> <p>場所 秋田県北秋田市綴子字古関 ボルタージャパン株式会社</p> <p>視察内容 小型のバイオマス発電機 フィンランド製のバイオマス発電機が北秋田市の道の駅に展示してあるのを視察した。</p> <p>興田～一ノ関駅 往復自家用自動車利用(片道 ; 30 キロメートル) (30 キロ×37 円) × 2 = 2,220 円</p> <p>一関駅～鷹巣駅 往復 別紙領収書のとおり 19,050 円</p> <p>鷹巣駅～ボルダージャパン タクシー利用 710 円</p>			

乗車券 (幹)
 一ノ関 → 盛岡
 經由: 一ノ関・新幹線・新青森・奥羽・田沢湖線
 7月6日から 7月9日まで有効
 ¥9,290
 29.-7.-3 千厩駅A1発行
 00035-01 (2-) C20

乗車券 (幹)
 盛岡 → 一ノ関
 經由: 盛岡・新幹線・一ノ関
 7月6日当日限り有効
 下車前差無効
 ¥1,660
 29.-7.-3 千厩駅A1発行
 60034-03 (2-) C64

新幹線特急券
 一ノ関 → 新青森
 7月6日 7:40発 8:20着
 7月7日 9:15発 E席
 8号車 15番E席
 154
 盛岡 乗換
 新青森 8:49発 9:49着
 1号E席
 5番E席
 646
 ¥3,990
 29.-7.-3千厩駅A1 (2-) 60034-04

新幹線特急券
 秋田 → 一ノ関
 7月6日 (20:14発) (22:28着)
 7月9日 9:15号車 12番A席
 ¥4,110
 内訳: 特1,650・幹特2,460
 幹在特 NO2360
 29.-7.-3千厩駅A1 (2-) 60034-05

領 収 証

2017年 7月 3日

様

金19,050円

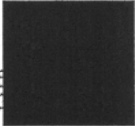
ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
 付につき決済
 税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
 千厩

様式第7号(第8条関係)

支 払 証 明 書	
支払金額	金 2,220 円
支払の相手方	及 川 忠 之
支払の目的	フィンランド製の超小型バイオマス発電機と間伐材(杉のチップ材)の利用視察 大東町鳥海 ~一ノ関駅 片道 30km.×37 円×2
支払年月日	平成29年 7月 6日
支払者氏名及び印	及 川 忠 之 

領 収 書

2017 年 07 月 06 日 -001

メーター運賃 ¥710 円

合計 ¥710 円

現金支払 ¥710 円

車両番号 0802

毎度ご乗車ありがとうございます。

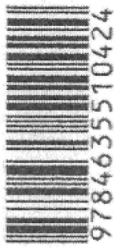
北鹿観光ハイヤー(資)

北秋田市綴子字中堤38番地

電話 0186(62)1313

支出伝票

項目	資料購入費	支出内容	資料購入費
金額	1,900 円	摘 要	
(科目領収書貼付)			
	熊問題を考える	880 円	
	消費税込	950 円	
	限界集落の真実	880 円	
	消費税込	950 円	
<p>領 収 証</p> <p>及川 忠之 様</p> <p>H 29 年 7 月 19 日</p> <p>¥ 1,900</p> <p>但し内容証明、限界集落の真実 上記の金額正に受領いたしました。</p> <p>小原書店</p> <p>〒029-0523 岩手県一関市大東町摺沢字但馬崎15-2 電話 0191-75-3151 FAX 0191-75-2222</p>			



9784635510424



1920275008800

ISBN978-4-635-51042-4

C0275 ¥880E

定価：[本体880円]+税

山と溪谷社

クマ問題を考える

野生動物生息域
拡大期のリテラシー

田口洋美



ヤマケイ
新書

Y8035

クマ問題を 考える

野生動物生息域拡大期のリテラシー

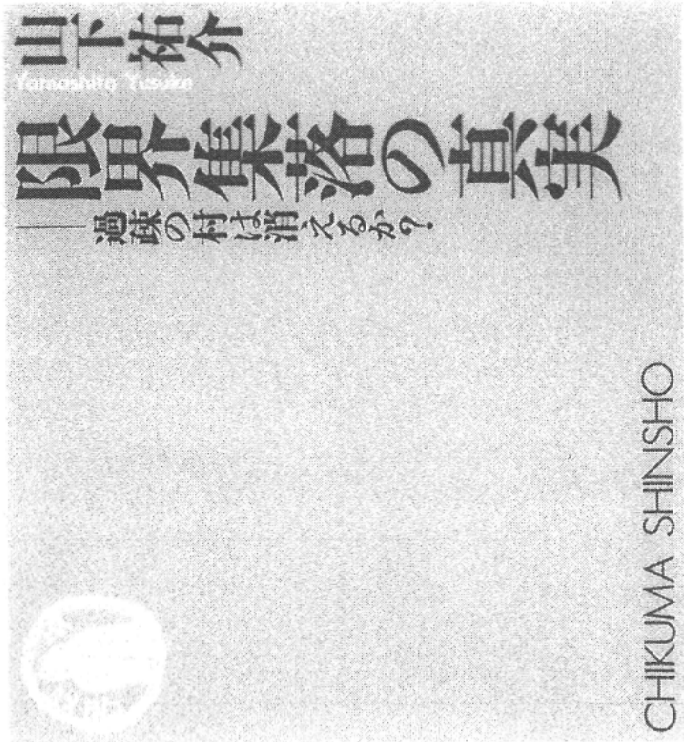
田口洋美



ヤマケイ新書

Taguchi Hitomi

眼生まれ。民俗文
究所主任研究員を
」を主宰。1996年
年、東京大学入学
果精修了。博士(環
学教授。自然と人
ら捉えた狩猟文化
東ロシアや東アフ
つ、狩猟を視点と
も取り組んでいる。
(農文協、ヤマケイ
社)『マタギを道う
社』などがある。



……限界集落問題を、地域社会の消滅予言ではなく、避けるべきリスク問題として提示し、逆にそこから将来あるべき地域社会の姿を描き出していきたい。…「かわいそうな人々を救え!」ではなく、日本社会論につながる形で限界集落問題を解説しなおしていくなかにかこそ、希望ある展開は導き出されていく……

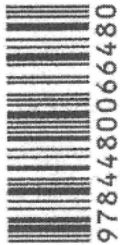
ちくま新書
941

限界集落の真実 山下祐介

ちくま新書 941
880
+税



山下祐介 (やまおか たかひろ)
1969年生まれ。九州大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程中退。弘前大学准教授などを経て、現在、首都大学東京准教授。専攻は地域社会学、環境社会学。著書『国産、近代化のダイナミズム』(編著、御茶の水書房)、『白神学』(編著、フナノの黒白神公社)、『リスク・コミュニティ論』(弘文堂)、『災害都市の研究』(共著、九州大学出版会)、『震災ボランティアの社会学』(共著、ミネルヴァ書房)など。



9784480066480



1920231008806

ISBN978-4-480-06648-0

C0231 ¥880E

定価(本体価格880円+税)

支出伝票

項目	資料購入費	支出内容	資料購入費
金額	13,650 円	摘要	
(科目領収書貼付) 「エコノミスト」 6ヶ月分 購読1年分 27,300 円(5月～10月までの6か月分)			

<振込銀行・口座番号>
三菱東京UFJ銀行 本店 当座 [REDACTED]
口座名：毎日新聞出版 (株)

請求書

2017年 4月 17日

及川 忠之 様

請求金額 ¥27,300-

但し、「エコノミスト」
0606号から1年 49回分の購読料として
上記の通りご請求申し上げます。

〒102-0074 [REDACTED]
東京都千代田区九段南1-6-17 [REDACTED]
毎日新聞出版株式会社
営業本部営業部 03-6265-6941

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[REDACTED]
加入者名	毎日新聞出版(株)営業本部
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 2 7 3 0 0
依頼人	【住所非表示払込書】 及川 忠之 様 継続 エコノミスト-0606-049 [REDACTED] 様
料金	日 附 印 29-04-24 興田郵便局
備考	[REDACTED]

配載事項を訂正した場合は、その旨所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。 (CVS) 印刷

支出伝票

項目	資料購入費	支出内容	資料購入費
金額	4,104 円	摘要	

(科目領収書貼付)

樹木たちの知られざる生活 1,600 円
消費税込 1,728 円

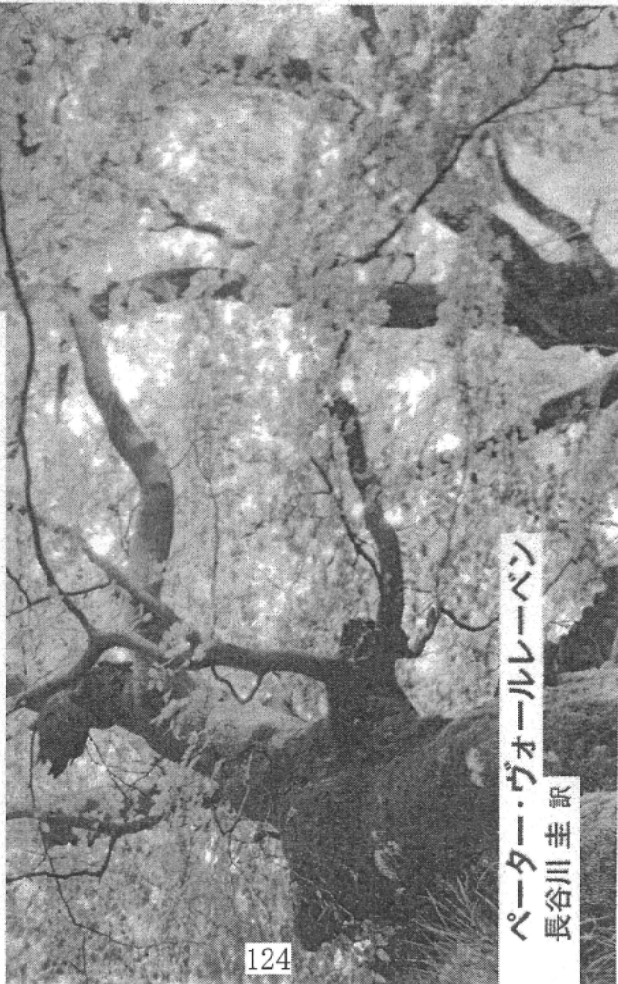
田園回帰

交響する都市と農山村—対流型社会が生まれる— 2,200 円
消費税込 2,376 円

No. 164779	
領 収 証	
H29年 6月 20日	
及川 忠久 様	
金 額	¥ 4,104
但し 書籍代として	
上記金額正に領収致しました。	
係 印	印 紙
株式会社	さわや書店
〒020-0022 盛岡市大通二丁目2-15 電話 盛岡 (019) 653-4411	
金額訂正、社印係印のなきものは無効です。	

樹木たちの 知られざる生活

森林管理官が聴いた森の声



ペーター・ヴォールレーベン
長谷川 圭 訳

あなたはまだ何も知らない。
木や森の真実を——

ドイツで70万部突破&ニューヨーク・タイムズ・ベストセラー!
傑作ネイチャー・ノンフィクション

翻訳権独占 早川書房

樹木たちの知られざる生活

森林管理官が聴いた森の声

ペーター・ヴォールレーベン
長谷川 圭 訳

世界的ベストセラー

早川書房
5,209,587



9784152096876



1920040016009

ISBN978-4-15-209687-6
C0040 ¥1600E

定価(本体1600円+税)
早川書房

「森の樹木たちが社会を営んでいることを、科学的な研究と自らの観察を織り込み、人間の生活になぞらえて楽しく教えてくれる」
—— ニューヨーク・タイムズ紙

「樹木に対する愛の告白であり、木々の生態へのこの上なく興味深い入門書だ」
—— ワシントン・ポスト紙

「著者は森の、「森を語る」森のなかに世界を見つけた」

「著者は森の「魂」を取り戻した」—— 南ドイツ新聞
—— リテラトゥーア・シビューゲル誌

交響する都市と 農山村

④ 対流型社会が生まれる

沼尾 波子 編著

、口減少と高齢化、「成長」時代の終焉、そして未曾有の財政難……縮んでいく日本をどうすればよいか、いま問われている。これからの時代に求められるのは、農山村を開放することではなく、都市と農山村の関係を結びなおすことではないか。それぞれの魅力を知り、交わることから、多様性をもった豊かな日本が生まれる。都市と農山村を軽やかに行来する人たちの経験と語りとおして、人口減少時代の新たな「対流」の形を提示する。

series
田園回帰

④ 交響する都市と 農山村

対流型社会が生まれる

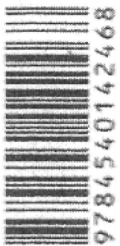
【シリーズ田園回帰】

第4巻 交響する都市と農山村

第1部 農山村が開く、都市が開く

第2部 都市と農山村を往来する若者たち

第3部 都市と農山村を取り結ぶ



9784540142468



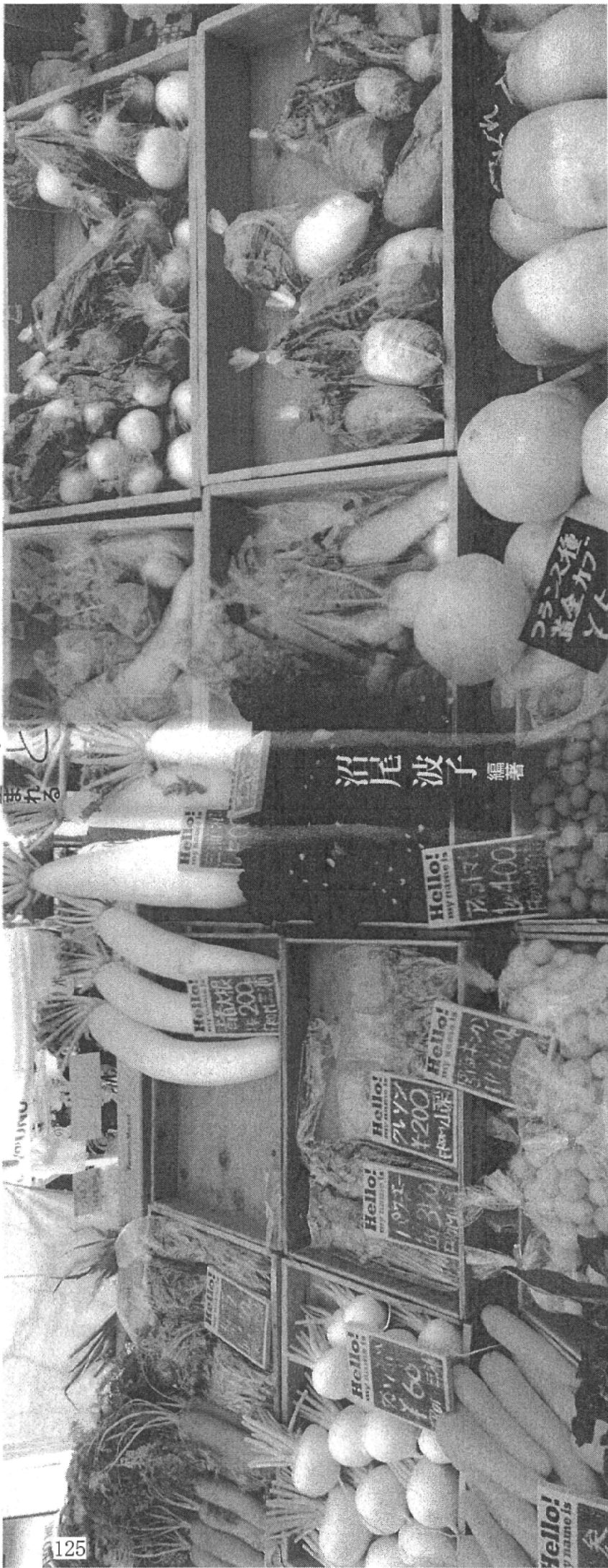
1920336022004

ISBN978-4-540-14246-8

C0336 ¥2200E

発行：農文協

定価（本体 2,200円＋税）



沼尾 波子 編著